

各 位

日本ダルクローズ音楽教育学会 第50回研究例会開催のご案内

若葉が美しい季節になりました。みなさま日々ご精励のことと思います。

さて、第50回研究例会を下記の通り開催します。多数の参加者により、研究協議が深められるよう、ここにご案内いたします。

◎日 時：2017年6月4日（日）受付開始12：30～

研究発表開始13：00～16：10（終了予定）

◇会 場：東京家政大学板橋キャンパス 120周年記念館4B教室

☆参加費：会員1,000円、一般1,500円、学生500円（当日受付）

◎主催者：日本ダルクローズ音楽教育学会

*事務局：東京都国分寺市戸倉3-21-7（福嶋気付）TEL：042-575-7270

プログラム

◎研究発表（13：00～15：45）

♪司会者：大谷 純一（聖セシリア女子短期大学）／神原 雅之（国立音楽大学）

発表1. 入江 眞理（静岡産業大学）

題目「リトミックにおける身体運動の意義」(3) —ステピンスの体操との比較を視点として—

発表2. 永田 美奈子（明星大学通信制大学院博士前期課程）

題目「エミール・ジャック＝ダルクローズの知的障がい児への教育観に関する研究」
—ジルベール・ロバンとE.J＝ダルクローズの相互影響の検討を中心に—

発表3. 大武 美千代（明星大学）

題目「ドイツ最初のリトミック教師ブレンスドルフに関する一考察」

発表4. 細川 匡美（立正大学）

題目「ベルギーにおけるリトミックの影響と展開」
—ドクロリー・メソードとの関係を通して—

発表5. 古閑 真実（明星大学通信制大学院博士前期課程）

題目「ジャック＝ダルクローズの『ソルフェージュ』から『リトミック』への
繋がりに関する一考察」
—『ダルクローズ・ソルフェージュ』と『ダンノーゼルのソルフェージュ』
との比較を視点として—

発表6. 板野 和彦（明星大学）

題目「年報（1911年）年報に見られるジャック＝ダルクローズの教育観
の変化についての研究」

♪お知らせ♪ 第17回研究大会開催ご案内

・日時：2017年11月12日（日）

・会場：東京家政大学板橋キャンパス

・内容：研究発表・J＝ダルクローズ作品演奏・ワークショップ・ラウンドテーブルなど